

日時 平成31年2月1日（金）14:00～16:30

会場 農林水産省 7階講堂（東京都千代田区霞が関1丁目2番1号）

主催 農林水産省、建設トップランナー倶楽部

開催趣旨

地域振興に打ち出の小槌はなく、各地域の方々が自立型の産業を興す努力にこそ解決の光があります。十数年にわたり、過疎地の地域建設会社が、業種をこえて農林水産業と連携し、新事業に挑戦してきました。地域建設会社が複数の本業を持ち、社会基盤の守り手として、地域の雇用の支え手として頑張っています。この道は平坦ではありませんでしたが、これを目指した建設会社の多くが、地域にとって必要とされる企業となっています。過疎地の再興の中核となった会社もあります。

「建設業と農林水産業の連携シンポジウム」は、2015年2月に「建設帰農と林建協働の十年の歩み」をテーマに初回を開催し、その後、隔年で開催しています。このたびは3回目として、「過疎地の再興を目指して」をテーマに、6社から事例を発表していただきます。過疎地の再興のために何が必かについても、真剣に議論したいと考えています。

参加費 無料

申込方法 建設トップランナー倶楽部ホームページの申込フォームからお申込ください。

<http://www.kentop.org/>

【問い合わせ先】 建設トップランナー倶楽部 事務局：

〒113-0023 東京都文京区向丘1-5-4 ワイヒルズ2階 米田事務所内 中川寛子、大里茂登子

TEL 03-5876-8461 FAX 03-5876-8463 Mail: info@kentop.org

ホームページ: <http://www.kentop.org/>

農林水産省担当者： 大臣官房政策課 島田豊 TEL03-3502-6565

プログラム

【14時00分-14時15分】

主催挨拶 農林水産省 事務次官

末松広行

来賓挨拶 農林中金総合研究所 理事長

皆川芳嗣

趣旨説明 建設トップランナー倶楽部 代表幹事

米田雅子

【14時17分-15時17分】

第Ⅰ部 事例発表 発表各15分、アドバイザー講評各5分

アドバイザー： 農林水産省 農村振興局農村政策部長

高橋孝雄

国土交通省 大臣官房 技術審議官

五道仁実

① ICT利用、ラジコン除草で奥飛騨から農業再興 和仁農園（和仁建設）

和仁松男

岐阜県

② 廃校利用し、いちごのLED栽培を自社開発 いちごカンパニー（小野組）

小野貴史

新潟県

③ さくらんぼ観光農園、木材再利用、複業で津軽振興 竹内組

竹内大介

青森県

アドバイザー講評 2名

【15時20分-16時20分】

第Ⅱ部 事例発表 発表各15分、アドバイザー講評各5分

アドバイザー： 林野庁 森林整備部長

織田 央

水産庁 漁港漁場整備部長

岡 貞行

国土交通省 大臣官房 建設流通政策審議官

北村和久

④ コンテナ苗生産と農業でオホーツクを元気に 管野組・佐々木産業

管野浩太郎

北海道

⑤ 森林・農業・IT企業誘致で奥会津の再興めざす 佐久間建設工業

佐久間源一郎

福島県

⑥ 定置網と隠岐牛で島おこし 飯古建設・隠岐潮風ファーム

田仲寿夫

島根県

アドバイザー講評 3名

【16時20分-16時25分】

建設トップランナーから近況報告

・5社から1分間メッセージの発表

【16時25分-16時30分】

閉会の言葉 林野庁 長官

牧元幸司

第3回建設業と農林水産業の連携シンポジウム 「過疎地の再興をめざして」